

コムギ(ムギ類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機 構分類 コード	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	赤 か び 病	赤 さ び 病	う ど ん こ 病	条 斑 病	眼 紋 病	斑 葉 病	な ま ぐ さ 黒 穂 病	ア ブ ラ ム シ 類	ヒ メ ト ビ ウ ン カ	ム ギ ア カ タ マ バ エ	ム ギ キ モ グ リ バ エ	ア ワ ヨ ト ウ
トップジンM水	1		14	*d	◎		◎		◎							
トップジンM粉DL	1		14	*d	◎											
ベンレート水	1		7	2	◎		◎									
アフェットFL	7		14	3		◎										
ミラビスFL	7		7	2	◎	◎										
アミスター20FL	11		7	3		◎	◎									
ストロビーFL	11		14	3	◎	◎	◎									
シルバキュアFL	3		7	2	◎	◎	◎									
チルト乳25	3		3	3	◎	◎	◎		◎							
トリフミン乳	3		3	3	◎		◎									
キノドー水40	M1		*a	1						◎	◎					
オーソサイド水80	M4		14	4	◎											
ベフラン液25	M7	劇	*a 14	*c 1	◎		◎		◎		◎					
キンセット水80	M1・M1		*a 60	1 5				◎								
ホーマイ水	1・M3		*a	1						◎	◎					
スミトップM粉	1・1B		14	1	◎		◎					◎	◎	◎		
スミチオン乳	1B		7	1								◎			◎	◎
トレボン乳	3A		14	2								◎	◎			
ペイオフME液	3A	劇	7	2								◎				
アドマイヤー顆水	4A	劇	14	2								◎				
ビレスコ顆水	4C		7	2								◎				
アプロード水	16		7	3									幼			
ウララDF	29		7	2								◎				

*a: 播種前

*c: 3回以内(出穂期以降は1回以内)

*d: 3回以内(出穂期以降は2回以内)

幼: 幼虫

コムギ(ムギ類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
赤かび病	開花始め～開花最盛期	<ul style="list-style-type: none"> 次の薬剤のいずれかを散布する。 トリフミン乳剤● 1000倍 トップジンM水和剤● 1000～1500倍 ベルコート水和剤 1000～2000倍 	●耐性菌を生じるおそれがあるので連用しない。
うどんこ病	4～5月	<ul style="list-style-type: none"> 発生が認められたら次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター20フロアブル● 2000～3000倍 トップジンM水和剤● 1000～2000倍 トリフミン乳剤● 1000倍 	●耐性菌を生じるおそれがあるので連用しない。
裸黒穂病 ・ なまぐさ黒穂病	播種前	<ul style="list-style-type: none"> 次の薬剤で種子消毒を行う。 ベンレートT水和剤20* 20倍 10～20分間浸漬 200倍 6～24時間浸漬 乾燥種子重量の0.5% (粉衣) 	*ムギ類での登録
	発病時	<ul style="list-style-type: none"> 病穂は早期に抜きとり処分する。 	
から黒穂病	播種前	<ol style="list-style-type: none"> 品種の選択に注意する。 早まきをさける。 被害の多い圃場では連作をさける。 	
	発病時	<ul style="list-style-type: none"> 被害株は発見次第黒粉が飛散しないよう抜きとり処分する。 	
アブラムシ類	出穂前後(4～6月)	<ul style="list-style-type: none"> 発生の多いときには次の薬剤のいずれかを散布する。 アグロスリン乳剤* 2000倍 ウララDF 4000倍 スミチオン乳剤 1000倍 	*ムギ類での登録